



THIS MONTH
TOP NEWS



日替わりのランチは1000円。子持ちカレーの表付けなど3種のメインから1種をチョイス、アイスコーヒー・喫茶はセルフで飲み放題。夏の暑い日には嬉しいサービスだ



●マエダの
フミングカフェ
■京都市中京区木屋町三条上ル
二筋目西南角
CEO KIYAMACHI 1F
☎075-211-0345
●11:00~15:00
19:00~翌5:00
無休 (昼のみ水休)



避暑地へ行きましょう

京都の夏。盆地であるがゆえの独特の蒸し暑さ。毎年恒例のように「この暑さが無くなってしまえばいいのに」だとか「一年中春だったら…」「早く秋が来て欲しい」が日常会話になっていませんか？ ホントに欲しい夏の涼、探しに行きましょう。

とっとり早く欲しい涼 本音とは贅沢なもの

例えば京野菜には「旬」があり、料理人はそれをどう調理すれば素材の旨味を損なわずに食べられるのかを考える。それと同じくして、夏という季節もまたひとつの「旬」であり、この与えられた旬をいかに活かすか、楽しむかを考えるあたりが京都という街の気質ではないだろうか。その嗜好を持ち得た街だからこそ、川床のような京都独自の文化を育んできたのだろう。公園や神社仏閣の木陰のベンチに寝そべって、蝉の鳴き声が耳に届かないほど、文庫本を読み耽るのもいいだろうし、市民プールもあれば、クーラーの効いた図書館もいたろう。そして当然、先月から本誌初となる2ヶ月連続で特集した川床も暑い中で涼を感じ、風情があっただけでなく、繁華街からほど近いいつでも賑わいもあつて、クーラーの涼があつて、これが「街中の避暑地」と思えばいいだろうか？

迷わずネクタイを緩める 特設水庭リゾートの涼

壁一面にゆるやかな滝のようにさらさら流れる水と、足下のウッドデッキの下をすりぬける水。これがSala Suit Cafe 2Fの目録の屋外のテラス席。様々な媒体で紹介され有名になったテラス席だが、そのプライオリティはカッパルでも団体でも4組のみ。7人まで座れるのシートでも相席なしという点。この特等席を狙って女性はかりでなくスーツでビジネスと固めた客も、昼間からネクタイを緩めにやってくる。「二応、南国リゾート的なノリを演出してるんですけど(笑)」と話すマネージャーの大久保氏は、「テラス席もいけど、やっぱり一番涼しいのはクーラーの効いた店内(笑)。窓際の席だとテラス席と同じ風量が見えますしね」とも。

白川のせせらぎと創作ワッフルの涼

祇園の白川と聞けば、少々聴する気も分らないことはないが、ここ「Peach Pie」に入らずに決め付けるのは時期尚早といったところ。「2年くらい店の前をずっと通つてはった人が、いざ店に入ってきた時は『うわぁ、中こんなってたんや！』って驚いてくれたり(笑)」と話すオーナーの寺田氏。自らを「自由人です」と称する店がお堅いわげがない。パティシエとフレンチシェフを揃えた寺田氏が構えるこの店に、誘うのは焼きたてのワッフルとしたワッフルの香り。そして目の前には白川のせせらぎ。この甘い口ケーションは夏の避暑地だけに勿体ない。季節と共に移ろう風景とスイーツをじっくり味わいたい。

街の真ん中を潜れば 地底の楽園に流れる涼

屋号からして涼しげな辨誨ではお馴染みの一軒、agora。駄屋町六角、セントラルスクエアの地底に潜る楽園にはプールが設置されている。とはいえ、「泳ぐ」なんてのは当然、御法度(笑)。「今は金魚だけですけどね。窓際からプールを眺めるだけでも涼しいでしょ？」とスタッフの小森氏。視覚だけでなく、8月からは料理のほうも一段と涼しげなメニューが登場。そのメニューの数を生み出すシェフだが、朝は野菜を農家の自家農園で採り、そのまま店へ直行。その後は中央市場へ魚を仕入れに自



「バスタランチ」900円。写真は定番のタコと水菜のアラビータ。定食屋気分「バスタ大盛り！」なんてこともOK。ランチタイムはオフィス街だけあって遅鐘するが、14:00以降は比較的穏やか



●Sala Suit Cafe Rucola
サラスイートカフェルコーラ
■京都市下京区室町通四条下ル 池坊短期大学B1F
☎075-353-9954
●11:00~24:00
(ランチL.O.14:30、ディナーL.O.23:00)
日祝~23:00 (ディナーL.O.22:00) /無休

KBS京都 × 森CE メディアMIX コラボレート企画

谷口夜口 Taniuchi's Night

誌上

KBS京都 毎週土曜日
夜11時30分 絶賛放映中

谷口キヨコで〜す！夏休み真っ只中、毎日暑いですが！でもそんな日こそ「谷口夜」を見て和んでね〜！谷口はこの夏ガンガン肌を露出して行きます！宣言します！そんなわけで谷口の衣裳もお楽しみに。それから谷口のケータイに番組への要望、感想をどんどんメール送ってね！親しがり屋の金太郎師匠にも腹のメールをヨロシク！

谷口キヨコ



谷口の師匠の金太郎です。最近俺の調子が画面から滲み出てしまってるようで困ってます。俺がピンピンみんなを指導してるので面白い情報が盛りだくさんの番組になってます。まあ、今後ともヨロシク。

金太郎

京都市のオススメバラエティー ごなんん放送してます！

100円玉でいっしょがい

西京阪四條にある「ひやく天満天」は食べ物も飲み物も何とオール100円の居酒屋。メニューも100種類と豊富。100円だからあれこれ頼んで色んな料理をちょっとずつ楽しむこともできる。100円ショップならぬ100円居酒屋、あなたも小銭を持って行ってみよう！



懐かしさを袋詰め

三条東山にある鈴木道具店はちょっと変わった古道具屋。中に入ると驚くのは数々のおもちゃ。中でも目を惹くのは昭和20年代〜30年代のレトロな玩具。今どき流行りの複製版ではなく、本当に古い貴重な物。ここでは予算に合わせて懐かしのおもちゃを袋詰めにして販売してくれる。あなたも童心に帰って選んでみてはいかが？

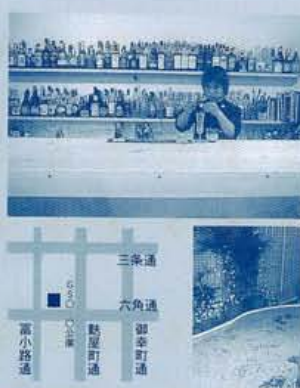


変わりダネバー

河原町通り六角にあるちょっと変わったバー。その名も「秘密結社ショッカー」。名前の通りショッカーの基地をイメージした造りになっている。オススメのカクテルは怪人の毒々しさが漂う「死神博士」。そして運が良ければコスプレショッカーの接客を受けられる。



番組では谷口キヨコの専用携帯を開説！
ご意見、ご感想、応援メッセージなど、
どんどんメールしてください！
メールアドレスは・・・tani-yoru@docomo.ne.jp



●aqua アクア
■京都市中京区六角駄屋町西入ル
KMCビルB1F
☎075-231-11884
●18:00〜翌3:00 / 水休

さあ、街中の

今回、「登場予定」の店にも、涼を感じさせてくれる店はまだまだある。暑さにかまけて家のクーラーに浸るより、街へ涼を探しに出る方がいいのだろうか。何も目的も持たず街をブラブラするのもいい。でもそこに「街中の避暑地」というターゲットを絞って街を歩いてみるのも面白くないか、と思う。どんな些細な涼でもいい。例えば四條烏丸から河原町通りへ向かって四條通を歩くと、いつもは真っ直ぐ目的地へ向かうのに、今の季節だと時々降り注ぐ日差しを避け、ひんやりと冷房の効いている場所を探して歩いてはいないだろうか。そんな場所のひとつひとつを「街中の避暑地」なんて名付けられる気がない。でも視点を転えて街中の避暑地を探して回ればいつもと違う発見があるかもしれない。夏という旬が過ぎれば気にも留めないことが、きっと見つかるはずだ。

街遊びのひとつとして街中の避暑地を探る

「ファミンゴカフェ」の場所を前オーナーから、同じく木屋町は1Gのオーナー前田氏が引継ぎ、生まれ変わったのがマエダのファミンゴカフェ。三条以南の木屋町のような個性はさほど、少々落ち着いた感のあるこの場所を窓をフルオープン。すると目前には静かに流れる高瀬川がある。そこで前田氏は「このロケーションでバーだけじゃ物足りない」ということで7月からスタートした昼のランチ営業。青には見慣れたせせらぎも、隣の野原の時間帯にゆっくりと眺めれば、ここが同じ場所？と見まがうほど違った表情を見せてくれる。しかし8月末あたりから本格的にリニューアルへ突入するため、往年のファミンゴカフェを懐柔する人、この場所が涼を感じたいなら今すぐ店へ急いだほうがいいだろう。

全開の窓からの眺望 高瀬川をせせらぐ涼

ら出向く。店へ戻れば仕込みも自らこなす。「一日中働きっぱなしですわ(笑)」と涼しげな顔を話してくれるが、この影で流す汗あってこそこの涼。普段は口外しないシェフの尽力を噛みしめながら涼を感じたい。



●「Pooh's?…」cafe プーズカフェ

■京都市東山区東大路通古門前下ル松原町294
☎075-541-3002
●11:00〜19:00 (L.O.18:00) / 不定休

「ベリーベリーワッフル」900円。今年から「Pooh's?…」cafeがロゼーヌの料理教室「TERADA」も同店で開始。かしたったものではなく、生徒の希望を参考に内容を変えていくそう。詳細は店まで



ハムを生の「ロミ」を1150円、ピッツァアートを420円、ランチタイムとデザート以外



「4」の曜日を「ロミ」に見逃すべからず

「大皿をみんなで分け合ってワイワイ過して」と、イタリアのマンマのこんな素朴な優しさに包まれたトラットリア。料理のほとんどはオーナシェフの中川さんが現地で学んだ馴染み深いローマ料理なれど、ピッツァだけは「ナポリで食べたピッツァの味が忘れられなくて」と、もっちり分厚いクラストのナポリ風。生地の伸ばし方や焼き加減に工夫を凝らして、オープン焼きとは思えない見事な食感が再現されている。ピッツァの名脇役、トマトソースももちろん自家製。近所の農家で仕入れるもぎたてトマトを使っただけ味さっぱり系ゆえに、2枚、3枚のおかわりは日常茶飯事。その名物のピッツァ全11種が「4」の付く日は半額! になるとは、ほんと中川さんではよいお方。



意匠から見える景色は太陽ヶ丘の緑一色。時折、近所のおじさんから野生のイノシシを貰えることもあるのだとか、日替りアラカルトに要注目

●Quattro Amici
クアトロアミーチ
■京都市宇治市折居台1丁目44
☎0774・23・2330
●11:00~15:00 (L.O.14:30)
17:30~22:00 (L.O.21:30)
火、第2水休



ロックと酒。でも騒ぐのは卒業 そんな男々へ捧ぐ、北山の一軒



ウォッカをクラムベリージュースで割った「MIDNIGHT-SUN」700円。世界各産のビール約20種も常備。だが、一番人気は焼酎とのこと。これも流行りつつやつてしょうか

フロアに響くのはF・マーキュリーのシャウト、M・シェンカーの超絶ギター! ってココは木更町のロックバー? いやいや、8月で2周年を迎える北山のショットバー。このBGMは70、80年代のハードロックを愛するマスターズE.N.氏のセレクトによるもの。でもBGMのわりにはネオン煌めく木更町の様な複雑な騒がしき皆無だ。それもマスターが木更町ではなく北山の地を選んだ理由「入多のキラライヤ」との言葉を聞けば少し頷ける。その思いを同じくしてか、カウンターを埋めるのは「若者でこった返す木更町はしんどいねん」と落ち着いて飲みたい少しオトナの飲み助や往年のロックファン。そんな「バーボン、ロックで板に付く年頃の集う店、カッコええやん」

●SHOT BAR FREE SOUL
ショットバー フリーソウル
■京都市北区上賀茂桜井町64 WEEK bldg.2F
☎075-711-8868
●19:00~翌3:00頃/月休



ひと皿にギュッと詰められた 店主の飽くなき味への探求心



「薄あげと海老すり身挟み焼き〜特製スイートチリソース〜」680円、「おぼろ豆腐のどるる明太子」630円、「KOBAN屋サラダ」850円

ホテルでフレンチを15年間。この下地を持つ店主は、そもそも「創作料理」という言葉がチヤホヤされるすくなく前から「こうしたほうが絶対的に美味いって」と独自のアレンジを施し、その出来には当時の料理長も驚いた程。そしてその力量はこの自ら築いた城で水を得た魚となつた。供すはフレンチと和食という新境地で、ほとぼは創作フレンチを宿した品々。それらには料理のセオリーに囚われず「美味いもん」を追求する彼の熱意が宿る。お酒に関しても気概は変わらず、棚を飾る焼酎は店主が各地の酒蔵を奔走し探し求めた熱意の賜物。この姿勢、店主の口から漏れてくる血からこぼれ落ちてきそうな気分、しませんか?

●KOBAN屋 こばんや
■京都市下京区四条新町通下ル綾小路東入北側1F
☎075-353-8764
●18:00~23:00/火休



あなたが昨日飲んだお酒は この試飲会がキッカケかも



会場では7つの酒蔵からそれぞれイチ押し銘柄が登場。深を口にしながらイベントスタッフによる酒の説明に興味深々耳を傾ける来場者の姿があらこちで見られた。笑顔が目立ったのははる酔いのせい?



「本格麦焼酎であれば」「純米吟醸」など会場一角に並ぶ株式会社丸山オースタの銘柄。いずれも今年もしくは昨年誕生した新種ながら、日本各地の焼酎・地酒のくつから同社が選りすぐった逸品だけに、今後、この銘柄になる可能性も

●株式会社丸山
かぶしきがいしゃ まるやま
■向日市寺戸山樺手1-3
☎75-933-6432